


**BUFFET
CRAMPON**
PARIS



XXI

ミシェル・アリニョン、ニコラ・バルディルー、
マルティン・フレスト、ポール・メイエの
4名と共同開発した、
全く新しい21世紀のクラリネット
"BCXXI"。

従来の楽器のバランスを見直し、
下管を長く、ペルを短くすることにより、
楽器全体の響きやバランスが
大幅に向上しました。

短いペルとカーボンファイバー製の
リングの使用により、
重量は従来のクラリネットと同等です。

最低音のLowE♭キーと、
音色を損なわないB♭の
第3のフィンガリングは、
芸術性や美を追求するクラリネットに、
新たな可能性を提案します。

カタログNo.
in B♭ BC1158L-2-3J

New



ビュッフェ・クラリネット BCXXI 



*" You also have to dream about
your revolution, not just build it "*

Pierre Boulez

「革命を起こすだけでなく、夢を見なければならぬ」

ビエール・ブーレーズ



レ・ヴァン・フランス

Les Vents Français

2025年3月17日(月) 19:00開演
東京オペラシティコンサートホール

7:00 p.m. Monday, March 17, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

主催：ジャパン・アーツ

共催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランス

協力：ワーナーミュージック・ジャパン

ソニー・ミュージック ジャパン インターナショナル


AMBASSADE
DE FRANCE
AU JAPON
Liberté
Égalité
Fraternité


INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランス

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クラリネット・ジャパン
〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
www.buffetcrampon.com/ja/





PROGRAM

ルーセル：ディヴェルティスマン Op.6

A. Roussel: Divertissement for piano and wind quintet, Op.6

シルヴェストリーニ：ピアノと管楽器のための六重奏曲

(委嘱新作／本ツアーにて世界初演)

G. Silvestrini: Sextet for piano and wind quintet

(Piece for Les Vents Français / World premiere on this tour)

テュイレ：ピアノと管楽器のための六重奏曲 変ロ長調 Op.6

L. Thuille: Sextet for piano and wind quintet in B-flat major, Op.6

カプレ：フルート、オーボエ、クラリネット、バスーンとピアノのための五重奏曲 Op.8

A. Caplet: Quintet for flute, oboe, clarinet, basson and piano, Op.8

プーランク：ピアノと管楽器のための六重奏曲 FP100

F. Poulenc: Sextet for piano and wind quintet, FP100

レ・ヴァン・フランセ 2025年 日本公演スケジュール

3月12日(水)	川 西	川西市キセラホール	主催：(公財)川西市文化・スポーツ振興財団
3月13日(木)	東 京	文京シビックホール	主催：文京シビックホール [(公財)文京アカデミー]
3月14日(金)	高 崎	高崎芸術劇場音楽ホール	主催：高崎芸術劇場 [(公財)高崎財団]
3月15日(土)	秋 田	アトリオン音楽ホール	主催：秋田県/ABS秋田放送
3月16日(日)	三 鷹	三鷹市芸術文化センター	主催：(公財)三鷹市スポーツと文化財団
3月17日(月)	東 京	東京オペラシティ コンサートホール	主催：ジャパン・アーツ
3月18日(火)	枚 方	枚方市総合文化芸術センター	主催：枚方市総合文化芸術センター 指定管理者 アートシティひらかた共同事業体

PROFILE

レ・ヴァン・フランセ

Les Vents Français



© Warner Classics

国際的に活躍するトップクラスのソリストが集まったフランスのエスプリを受け継ぐ木管アンサンブル。演奏される機会の少ない名曲の紹介、最高の奏者で最高の演奏を心がけており、アンサンブルでも個人の輝きを見せるというフランスの伝統を重んじている。小さな編成から大きなアンサンブルまでレパートリーによってメンバーや編成も変わる。

メンバーが参加し制作されたプーランクの室内楽全集のCDは1999年のプーランク・イヤールに発売されると同時に絶賛を浴び、日本では第37回音楽之友社「レコード・アカデミー大賞」を受賞。以来、RCA Red Sealより「セクスチューオール〜フランス近代管楽のエスプリ」、ユニバーサルミュージックから発売された「フランスの風〜ザ・ベスト・クインテット」は第50回レコード・アカデミー賞大賞銀賞を受賞。また「管楽器とピアノ〜レ・ヴァン・フランセの真髄」「ベートーヴェン:管楽器とピアノのための作品集」「コンチェルトンテ!」「モダニスト」「ロマンティック」「ヒンデミット:管楽器のためのソナタ集」がワーナー・クラシックスから発売されている。

アンサンブルとしての初来日は2002年。NHKテレビでもその演奏会の模様が流れ、予想をはるかに超えるあまりの完璧な演奏は聴衆に衝撃を与えた。以降、定期的に来日し、ファンを魅了し続けている。



エマニュエル・パユ (フルート)

Emmanuel Pahud (Flute)

人気と実力の双方を兼ね備えたフルート界のスター。1970年ジュネーヴ生まれ。ブリュネル、グラーフ、デポスト、マリオン、ラルデ、アルト、ニコレに学ぶ。89年神戸、92年ジュネーヴの両国際コンクールで優勝。93年ベルリン・フィル首席奏者に就任。以来ソリストとしても世界各地で活躍し、ワーナー・クラシックス専属アーティストとして constants にCDを発売。深い音楽性と、自然で色彩豊かな音色が絶賛を博している。2009年フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」受章。



フランソワ・ルルー (オーボエ)

François Leleux (Oboe)

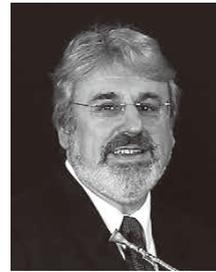
繊細で優美な音色と信じ難いテクニックで、オーボエ界のスターとして活躍。1991年にミュンヘン国際音楽コンクールで優勝し、一躍国際的注目を集める。その他トゥーロン国際コンクールでも第1位を受賞。18歳でパリ・オペラ座管の第1オーボエ奏者に、21歳でバイエルン放響の首席オーボエ奏者に抜擢。現在はソリストとして世界各地で活躍のほか、指揮者としても幅広く活動し、溢れんばかりの熱意と活力を持つことで知られる。



ポール・メイエ (クラリネット)

Paul Meyer (Clarinet)

名実共に世界のトップに立つクラリネット奏者。1965年アルザス生まれ。13歳でソリストとしてデビュー。19歳でカーネギーホールにデビュー以来、世界有数のソロ・クラリネット奏者として全世界で活躍。完璧な技術と品のある豊かな音色を持つ天才奏者としてベリオ、ペンデレツキ他数多くの作曲家達から曲を捧げられ初演も多い。近年では指揮者としても活躍。2019/20シーズンからはマンハイム管弦楽団の首席指揮者を務めている。デンオン、ドイツ・グラモフォン、BMGファンハウス他多数のレーベルより数多くのCDが発売されている。



ラドヴァン・ヴラトコヴィチ (ホルン)

Radovan Vlatković (Horn)

現代最高のホルン奏者のひとり。1962年ザグレブ生まれ。82年弱冠20歳でベルリン・ドイツ響の首席奏者に就任。83年難関ミュンヘン国際ARDコンクールでホルン部門14年ぶりの第1位を獲得。84年ザルツブルク音楽祭にデビュー。以来、世界中でソリスト・室内楽奏者として活躍。レパートリーは、バロックから現代音楽まで幅広く、また、多くの作品の初演も行っている。98年よりザルツブルク・モーツァルテウム、2000年よりマドリードのクイーン・ソフィア音楽大学にてホルンの教授を務めている。



ジルバール・オダン (バスーン)

Gilbert Audin (Bassoon)

フランス式バスーンの第一人者。1956年生まれ。73年パリ高等音楽院に入学し、バスーンをモーリス・アラールに、室内楽をクリスティアン・ラルデに学ぶ。同音楽院にてバスーンと室内楽で一等賞を得る。74年ジュネーヴ国際コンクール第2位(1位なし)、75年ミュンヘン国際ARD音楽コンクール第3位を受賞した後、80年ジュネーヴ国際コンクール、82年トゥーロン国際コンクールの両コンクールで第1位を受賞。現在、パリ・オペラ座管首席奏者。フランス国立パリ高等音楽院教授。



エリック・ル・サーージュ (ピアノ)

Éric Le Sage (Piano)

1964年南仏エクス・プロヴァンス生まれ。パリ高等音楽院を経て、ロンドンでマリア・クルチオに師事。85年ポルト国際コンクール第1位、89年ロベルト・シューマン国際コンクール第1位及びブリーズ国際コンクール第3位。ソリスト、室内楽奏者として活躍。Alphaレーベル他よりCDが多数発売されている。メイエ、パユとサロント・プロヴァンス音楽祭を主宰。古典から現代まで作品の核心に触れる深い解釈とフレンチ・ピアノニズムを継承する演奏で高い評価を受けている。フライブルク音楽大学教授。

PROGRAM NOTES

木幡 一誠 (音楽評論家) Issay Kohata

アルベール・ルーセル (1869-1937)

ディヴェルティスマン Op.6

海軍士官の職を1894年に退いてからパリのスコラ・カントルムに入学し、本格的に音楽の勉強を始めたルーセル。経歴的には晩学の徒だ。その彼がヴァンサン・ダンディに師事しながら、スコラ・カントルムで対位法の教鞭をとり始めた時期の1906年に「ディヴェルティスマン」は書かれた。木管五重奏とピアノという、当時はまだ珍しかった編成を使いこなしながら、「嬉遊曲」を意味する題名に合った世界を構築した佳作である。

曲は自由なロンド形式で、オーボエが提示する軽妙な主題を軸として進む。速度を緩めた中間部でも、対位法的な網の目を伴った響きの中に主題から派生した要素が巧みに配されていく。和声的な色合と質感の変化にはドビュッシーやラヴェルの影響が認められるものの、旋律線のおりなす輪郭や引き締まった造形感覚には「新古典主義的」なスタイルの先取りが感じられる。それは後のルーセルの代表作となったバレエ「バックスとアリアース」(1930)などにも通じる要素だ。

ジル・シルヴェストリーニ (1961-)

ピアノと管楽器のための六重奏曲

第1楽章：トランキル(静かに)

第2楽章：ヴィフ(急速に)

シルヴェストリーニはフランスのオーボエ奏者にして作曲家。印象派の絵画を題材とした「無伴奏オーボエのための6つのエチュード」(1997)が広く知られている。レ・ヴァン・フランセとエリック・ル・サージュに捧げられた「六重奏曲」は2024年6月に完成を見たもの。

第1楽章は静謐な導入部に始まり、調性感も曖昧なハーモニーの連鎖から次第に主題的な要素が出現。主部はテンポと雰囲気をお細かく変えながら進み、複調性に傾く響きが2度にわたり大きなうねりを演じた後に、楽章の折り返し地点をなす管楽器とピアノのコーラル風の対話が続く。後半部に入るとテクスチュアの輪郭がやや鋭さを増し、コーダではピアノの和声的楽句と管楽器のモノローグが交錯を重ねる。第2楽章の主部は快速調のテンポで律動的な動機を次々と繰り返す、歩調を緩めた中間部では、近接した音域で互いの居場所を探るようなモチーフを管楽器が吹き交わす。再びテンポを速めて主部の舞踏のリズムが回帰した後、音の奔流さながらの推移句を経て到達する終結部は、ピアノと管楽器の役割が入れ替わった形で、第1楽章のコーダに用いられていた素材を回帰させていく。

ルートヴィヒ・テュイレ (1861-1907)

ピアノと管楽器のための六重奏曲 変口長調 Op.6

第1楽章：アレグロ・モデラート

第2楽章：ラルゲット

第3楽章：ガヴォット、アンダンテ・クアジ・アレグretto

第4楽章：フィナーレ、ヴィヴァーチェ

テュイレは北イタリアのボルツァーノに生まれて、ドイツで活躍した作曲家。3歳年下のリヒャルト・シュトラウスとは少年時代から親しい間柄だった。しかし彼自身の作風はシュトラウスほどの先進性は持たず、シューマンやブラームスの影響も強くのぞかせる。1888年に作曲された「六重奏曲」も然りだ。

第1楽章はホルンのソロで始まる第1主題、クラリネットが導く親密なタッチの第2主題、全合奏で盛り上がる結尾主題を用いた、交響曲風の充実感すら備わるソナタ形式。第2楽章は深い森の情景を思わせ、そこに感傷的なモチーフが彩りを添える。第3楽章の主部はバロック風の装いで、テンポを速めた中間部は民謡調に転じる。多彩な転調楽句も駆使した第4楽章は、古典派時代の管楽作品で典型をなした“狩のロンド”を連想させるフィナーレ。

アンドレ・カプレ (1878-1925)

フルート、オーボエ、クラリネット、バソンとピアノのための五重奏曲 Op.8

第1楽章：アレグロ

第2楽章：アダージョ

第3楽章：スケルツォ(非常に速く)

第4楽章：フィナーレ(アレグロ・コン・フォーコ)

親しく交わったドビュッシーからも才能を評価されていたカプレは、印象主義的な路線を耽美的な音使いと結びつけて個性を開花させた作曲家である。この五重奏曲は、彼がパリ音楽院の学生だった1899年の所産。習作期の所産だが内容は高く、1900年の初演も好評だった。しかし譜面が散逸し、再発見されたのは作曲者の没後。1990年代ようやく出版を見たという経緯がある。

ソナタ形式の第1楽章では、4本の管楽器とピアノが光輝な響きで対話を交わす。そこに立ち込めるベル・エポック的な空気感は非常に魅力的だ。“深い悲哀と共に”と指示された第2楽章は深い陰翳をたたえ、透明感と遊戯性に富む第3楽章とは好対照。フィナーレは2つの主題を核にすえながらロンド風に仕立てられている。第2楽章の回想なども挟んだ後、第1楽章のテーマを用いたコーダが堂々と作品を終結へ導く。

フランシス・プーランク (1899-1963)

六重奏曲 FP100

第1楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

第2楽章 ディヴェルティスマン／アンダンティーノ

第3楽章 フィナーレ／プレスティッシモ

第一次大戦後のパリで気を吐いた作曲家集団“六人組”の一員にして生粋のパリジャン。そして骨の随までメロディストだったプーランク。その音楽は友人の評論家から「僧侶と悪童の同居」と形容されたが、彼の内面に巢食う都会人的な憂鬱の念が、ときに諧謔的なまでウィットのきいた瀟洒な筆致と同居を遂げたような作風の二面性が前面に出てくるのは、重要な友人を亡くすなどの不幸に見舞われた1930年代初頭以降のことである。1932年に完成し、翌年12月の初演を経てから1939年に改訂を見た《六重奏曲》は、当時のプーランクの内面を象徴的に伝える作品だ。

第1楽章はたたみかけるような導入部に始まり、そこで全曲を統一する動機が提示される。主部はどこか落ち着かないムードで、ときに辛辣な語彙も交えながら移り気な対話が繰り返されていく。バソンの旋律(これも後続楽章で重要な役割を演じる)に始まる中間部はメランコリーの色が濃い。第2楽章は一転してモーツァルト風の清々しさをたたえ、享乐的な中間部は出世作のバレエ《牝鹿》(1924年初演)を想起させる。第3楽章はパリの街角を舞台とする寸劇さながら。それが乱痴気騒ぎに陥る寸前に登場人物がハタと動きを停止。続くコーダは静謐な空気感のもと、主要楽想を回帰させながら肯定的な口調のみなざる終結部へ流れ込んでいく。

世界を席巻する若き巨匠シャニ、熱狂を再び!

ラハフ・シャニ 指揮 ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団

6月23日(月) 19:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

ワーヘナール：序曲「シラノ・ド・ベルジュラック」
プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番
ブラームス：交響曲第4番

6月26日(木) 19:00 サントリーホール

ワーヘナール：序曲「シラノ・ド・ベルジュラック」
プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番
ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」

6月27日(金) 19:00 サントリーホール

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲
ブラームス：交響曲第4番

6月28日(土) 14:00 横浜みなとみらいホール

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界」より

S¥20,000 A¥17,000 B¥14,000 C¥10,000 D¥6,000

主催：ジャパン・アーツ 協力：横浜みなとみらいホール(横浜公演) 協賛：IHI



ブルース・ウウ
(ピアノ 6/23・26出演)
©Christopher Keestlin

庄司紗矢香
(ヴァイオリン 6/27・28出演)
©Laura Stevens

ラハフ・シャニ
(首席指揮者)
©Marco Borggreve

©Guido Pijsjer

RMF & 山田和樹 グローバル プロジェクト

山田和樹 指揮 バーミンガム市交響楽団

6月30日(月) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール

ショスタコーヴィチ：祝典序曲
エルガー：チェロ協奏曲
ムソルグスキー(ヘンリー・ウッド編)：組曲「展覧会の絵」

7月1日(火) 19:00 サントリーホール

ショスタコーヴィチ：祝典序曲
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
チャイコフスキー：交響曲第5番

7月2日(水) 19:00 サントリーホール

ラヴェル：ラ・ヴァルス
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第4番
ムソルグスキー(ヘンリー・ウッド編)：組曲「展覧会の絵」

7月5日(土) 15:00 ロームシアター京都 メインホール

ショスタコーヴィチ：祝典序曲
エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調
ムソルグスキー(ヘンリー・ウッド編)：組曲「展覧会の絵」

【東京】S¥20,000 A¥17,000 B¥14,000 C¥10,000 D¥6,000
【京都】S¥18,000 A¥15,000 B¥12,000 C¥9,000 D¥6,000

主催：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション/ジャパン・アーツ 特別協賛：ローム株式会社

7月4日(金)19:00
アクロス福岡 シンフォニーホール
ほか全国8公演



河村尚子
(ピアノ 7/1出演)
©Marco Borggreve

シエカ・カネー=メイソン
(チェロ 6/30・7/5出演)
©Ollie Ait

イム・ユンチャン
(ピアノ 7/2出演)
©James Hoie

山田和樹
(音楽監督)
©Benjamin Ealovega

©Hannah Fathers

ARTIST SUPPORT

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。

「人のいるところには夢がある」2026年には創業50周年を迎えるジャパン・アーツの理念です。どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。

これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。今年も引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2024年度ご支援いただいた皆様

<2024年度 レ・ヴァン・フランセ 新作誕生サポートプロジェクト>

I.I. 石井登雄 木下靖子 雲然祥子 佐藤和美 杉浦敏浩 Y.T. 田中貴代美 S.T. 奈良佑紀 平山美由紀 堀内恵美

<2024年度 年間サポート>

朝妻幸雄 F.A. 井上豊 岩村和央 上原啓子 上村憲裕 M.U. K.O. S.O. 小田島容子 片山由美子 H.K. K.K. 栗田美知子 R.K. 新貝康司 M.S. M.T. R.T. A.D. 田中治郎 F.T. 東條Lilly トゥルーラブ真智子 トゥルーラブ真凜 K.N. E.N. 兒子弥生 S.N. 長谷川智子 T.H. 樋口美枝子 響城れい M.H. 平山美由紀 藤野盾臣 松尾芳樹 松田孝裕 真野美千代 三木谷晴子 J.M. M.M. 株式会社青林堂 株式会社セキド 三井住友カード株式会社 株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント 株式会社ロジックアンドエモーション ライフプラン株式会社 Heart of the Earth株式会社 きづきアセット株式会社 (匿名希望 27名)

<2024年度 福岡洸太郎に「花を贈ろう!」>

あかほりみお 厚見有紀 F.A. J.A. 池田惇子 石黒裕康 石崎典子 井住智子 R.I. A.I. 岩塚究 K.U. M.E. 猿渡かおり M.E. 大畑篤子 大原志津子 大原みずほ 小山田美代子 カッキー 柿信子 柏香織 T.K. 川島理絵 駒場雅世 A.K. 桜猫 桜井桂子 佐々木珠乃 佐野孝枝 A.S. N.S. 塩崎勢子 W.S. A.S. 新里真美子 進導幸太郎 鈴木志保里 N.S. 早田利江 高島秀子 鷹巣綾子 高田恵子 N.T. 武田眞子 武田佳美 辻田奈津 土屋麻起 長江雅子 中嶋妙子 Y.N. 中島葉子 S.N. 中村祥子 A.N. K.N. 野口由美 H.N. 林順子 平井聖香 平山美由紀 深堀悦代 S.F. 伏見由加 A.H. R.M. K.M. 三浦祐子 三浦洋子 村田恵美 村山幸恵 山口恵美 依田晴美 (匿名希望 24名)

<2024年 ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

井口和美 K.K. Rimiko M.H. M.M. 真野美千代 水足久美子 水足秀一郎 ロロコミリロコミ (匿名希望 12名)

<2024年 ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

井口和美 T.O. K.K. Rimiko M.T. 平山美由紀 細沼康子 M.M. 真野美千代 村瀬治男 ロロコミリロコミ (匿名希望 11名)

2025年3月2日現在 敬称略

アーティストサポートの詳細はこちらをご覧ください。

【お知らせ】

現在2025年度年間サポートを受付中です。

詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。



株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 Tel.03-3499-7720 (平日11:00~17:00 年末年始を除く)

人のいるところには夢がある。
JAPAN ARTS

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

コールセンター営業時間 10:00-16:00 火曜定休(変動あり) ※料金には消費税が含まれております。

Dolce Musical Instruments

確かなものを心ゆくまで、世界の銘器をあなたのもとへ

T
O
K
Y
O

Flutes Salon &
Powell Flutes Japan



Powell Flutes Japan
Artists Salon "Dolce"



Wood Wind
Instruments Salon



Brass
Instruments Salon



Saxophones Salon



Dolce Tokyo
Music Academy



生徒募集中

O
S
A
K
A

2F Floor
Brass Instruments &
Saxophones Salon



3F Floor
Flutes &
Wood Wind Instruments Salon



B1F Floor
Dolce
Art Hall



1F Floor
Dolce Music Academy



生徒
募集中

PLAY ENSEMBLE
LISTEN

N
A
G
O
Y
A

2F Floor
Flutes Salon Saxophones Salon



Wood Wind Instruments Salon



Brass Instruments Salon



1F Floor
ドルチェ・
アートホール
Nagoya



Dolce Nagoya
Music Academy



生徒
募集中



株式会社 **ドルチェ楽器**

www.dolce.co.jp

営業時間 11:00am~7:00pm 木曜定休(木曜日が祝日の場合、営業)※ソウル支店は除く

- 大阪店 〒530-0017 大阪市北区角田町2-7 TEL.06-6377-1117 FAX.06-6377-1233
E-mail:infod@dolce.co.jp
- 東京店 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-13-12 西新宿昭和ビル8F TEL.03-5909-1771 FAX.03-3345-1388
E-mail:tokyo@dolce.co.jp
- 名古屋店 〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-35 TEL.050-5807-3564 FAX.052-218-7828
E-mail:nagoya@dolce.co.jp
- ソウル支店 3F Moonchang Bldg. Seocho-dong 1583-8 Seocho-gu Seoul Korea 06652
TEL.(82)2-3472-8383 FAX.(82)2-3472-8381
E-mail:dolce-korea@dolce.co.jp